

乳児等通園支援事業の量の見込みと確保の方策の算出について

乳児等通園支援事業の「量の見込み」及び「確保の方策」については、国の示す指針に基づき策定しているため、乳児等通園支援事業の津市内のニーズと確保数について、数値比較だけでは分かりづらい状況となっております。

（量の見込みと確保の方策の算出方法詳細については、裏面を参照ください）

よって、乳児等通園支援事業の津市内のニーズと確保数の把握のため、令和 7 年度の実績について、以下の形でお示しいたします。

＜実績＞ 施設の受入可能時間と利用者数の比較

香良洲浜っ子幼児園（令和 7 年 1 0 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日）

月あたり開所日数	22	日/月	①
1 日の開所時間	6	h/日	②

○各年齢毎の年間の累積利用時間

	0 歳	1 歳	2 歳	合計
利用時間 (h)	412	361	61	834

		0 歳	1 歳	2 歳
利用定員	1時間あたりの受入可能人数 ③	2	2	1
月あたりの受入可能時間	①×②×③	264	264	132
累積利用時間 (h/月)	年齢毎の年間の累積利用時間 ÷ 事業を実施した月数	69	60	10
利用率	累積利用時間 ÷ 月あたりの受入可能時間	26.0%	22.8%	7.7%

(A) 量の見込みについて

量の見込みは以下の式により算出されます。

$$\frac{\text{対象年齢児童推定数}}{\text{①}} \times \frac{(1-\text{保育利用率})}{\text{②}} \times \frac{\text{乳児等通園支援事業推定利用率}}{\text{③}} \times \frac{\text{1月あたりの利用時間}}{\text{④}} \div \frac{176}{\text{⑤}}$$

- ① 第3期津市子ども・子育て支援事業計画策定の人口推計に基づく推定数です。
(※0歳児の場合、生後6カ月より利用ができるため、0歳児の児童推定数の50%にて算出しています)
- ② 過去の年齢別保育利用率に基づき算出されています。
- ③ 国の指針により「100%」で算出しています。
- ④ 国が定めた月あたりの上限時間の10時間で算出しています。
- ⑤ 国が定めた数値で、月あたりの施設開所時間（22日×8時間）を基にした数値です。

(例) 令和7年度の0歳児の量の見込みについては、以下の式で算出しています。

$$\frac{1,536}{\text{①}} \div \frac{2}{\text{②}} \times \frac{(1-0.375)}{\text{③}} \times \frac{1}{\text{④}} \times \frac{10}{\text{⑤}} \div \frac{176}{\text{⑥}} = 28$$

(B) 確保の方策について

令和7年度は試行的事業で開始した香良洲浜っ子幼児園の利用定員の数値としています。
令和8年度以降は、量の見込みの数値と同数の数値を設定しています。

(C) 利用者数（実績）の算出について

量の見込みの算出根拠と合わせて算出するべく、以下のように求めています。

$$\frac{\text{年間利用時間（累積）}}{\text{⑥}} \div \frac{\text{提供月数}}{\text{⑦}} \div \frac{\text{乳児等通園事業を実施する施設の開所時間}}{\text{⑧}}$$

- ⑥ 年齢毎の年間の累積利用時間（令和7年度の実績は表1のとおり）
- ⑦ 事業を実施した月数（令和7年度は10月より事業を開始したため、提供月数は「6」です）
- ⑧ 施設の開所時間（月の開所日数 × 1日の開所時間）

(例) 令和7年度の0歳児の利用者数（実績）は、以下の式で算出しています。

$$\frac{412}{\text{⑥}} \div \frac{6}{\text{⑦}} \div \frac{176}{\text{⑧}} = 0.39$$

(表1 令和7年度年間利用時間（累積）)

	0歳	1歳	2歳	合計
利用時間 (h)	412	361	61	834

令和7年度利用者数（実績）

0歳児： $412 \div 6 \div 176 = 0.39$
1歳児： $361 \div 6 \div 176 = 0.34$
2歳児： $61 \div 6 \div 176 = 0.05$